

いなかの町並みを歩いてみませんか！

～上 案 下 町 会（陣馬高原下）～

■ 地名の由来

近世に至るまで、神戸（現在の恩方と大楽寺町との境）以西の三里一帯を「案下^{アノ}村」と呼んでいたそうです（恩方村誌神社明細帳）。

■ 名所

▶案下三山

八王子市の最高峰である醍醐丸（867m）、それに次いで高い陣場山（857m）、熊野本宮を山宮として祀る本宮山（732m）の三山をいいます。醍醐丸は八王子市の最西端に位置しており、市街地からは甲州街道の横山町あたりの西正面に望むことができます（執筆：馬場喜信氏*）。



▶陣馬高原

陣場山を中心とし、北は和田峠から南は明玉峠あたりまでの一帯をいいます。昭和31年(1956)ころ京王帝都電鉄が観光地として名付けました。同44年(1969)山頂に白馬の像が建てられました。なお、山名は陣場山、高原一帯は陣馬高原と表記します。（執筆：馬場喜信氏）



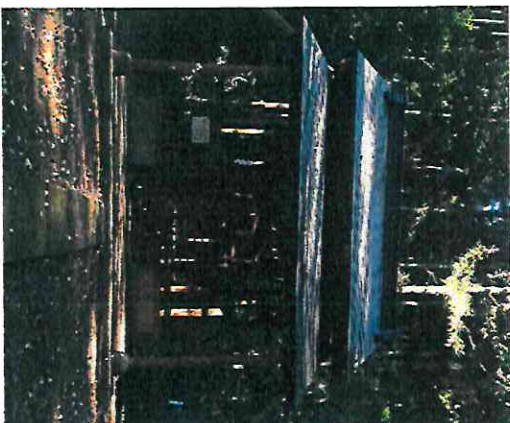
陣場山頂は360度におたり
大変見晴らしがよく、富士山
も見えます。
子どもから高齢者の方まで、
気軽に楽しめる山として親し
まれています。

▶熊野神社

上案下の鎮守社。明徳2年(1391)に紀州(和歌山県)の熊野三山(本宮・速玉・那智)を勧請しました。相殿に祀られている穴澤神社はそれ以前から奉斎されてきた地主神で、延喜式神明帳にこの名が見えます。市内唯一の式内社(執筆:馬場喜信氏)。



本宮山に、明徳2年(1391年)、室町幕府・足利義満の時代に祀られました。



野火により焼失し、現在の地に、慶長14年(1609年)、社殿が建設されました。



穴澤神社
(撮影:首都大学東京大学院
蔡辰蔓氏)



神戸付近(恩方と大楽寺町の境)に熊野神社の一の鳥居があったといわれ、案下村一帯の氏神様であったようです。
(恩方村誌神社明細帳)

* 熊野神社祭礼の際(平成30年9月2日)、案下会館において、講演会を開催しました。講師の馬場喜信氏(多摩地域史研究会、景観地理学)から、「案下熊野宮は式内社だった。」というテーマで、熊野神社は由緒ある神社であるとお話をいただきました。

馬場喜信氏は、今年4月に、八王子学園都市大学【いちよう塾】公開講座において、講演(演題:景観と地名から考える八王子の古社—案下熊野宮は式内社だった)されています。

著書は、『流域紀行八王子』『八王子を読む』『八王子案内24章』『峠と路』など多数あります。

■ 案下にまつわる地名



「あんげ道」の道標（追分交差点）

▶ 案下道

現在の陣馬街道を「案下道」と呼びました。

追分町の分岐点には、江戸時代の文化10年（1813年）に建てられた「あんげ道」の道標が今もあります。

江戸時代初めに、甲州街道が整備されると、案下道は裏街道になりました。

しかし、甲州上野原に集荷される物資は、甲州街道の駒木野の関所を避けて、案下峠（和田峠）を超えて八王子へ運ばれるため、案下道の交通量はあまり減らなかつたようで、案下は賑わっていたようです。（市郷土資料館だより）

▶ 案下峠（和田峠）

江戸期には、もっぱら「案下峠」と呼ばれていました。

▶ 案下城

下恩方町大久保の浄福寺裏にあった城です。

▶ 案下炭

恩方地区で生産された炭を「案下炭」と呼ばれています。



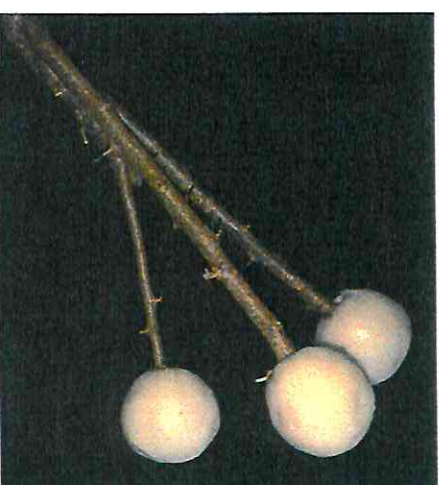
上案下のセエノカミ (八王子市指定無形民俗文化財)

上案下のセエノカミ

正月7日に各家庭から出された正月飾りと孟宗竹を、縄で先の尖った筒状にまとめあげ、14日に焚き上げます。メーダマ(繻玉)を焼き、無病息災を祈願します。

他地区のものが円錐形であるのに対し、高く筒状の形状をしているのが特徴です。

この「上案下のセエノカミ」をモデルに、夕焼け小やけふれあいの里においても、毎年、盛大に行われています。



メーダマ (繻玉)

■ 上案下のPR



平成29年度には、首都大学
東京大学院（プロジェクトリ
ーダー：多幾山法子准教授*）
の皆様により、上案下の古い
家・古い町並みの調査・研究
がされました。
熊野神社祭礼（H29年9月3
日）の際、案下会館において、
研究報告がされました。
また、東京都及び日本建築学
会に研究報告書が提出され
ました。



今、上案下の古い町並みが注目されています

多幾山法子先生より

八王子市外から陣馬街道を西に進んでいくと、伝統的な木造住宅や町並みが
徐々に現れてきますが、上案下には、特に凝縮された町並みが残っており、
ノスタルジックな気持ちになります。
近年、「トカイナカ」という造語が作られるほど、都会に近い田舎での生活
を楽しむことに着目されていますが、まさに、上案下のような地が残って
いることが素晴らしいと感じています。

* 多幾山法子氏（首都大学東京 大学院都市環境科学研究
科 建築学域 准教授）は、文化財・木造の伝統建築の保
存に向けた耐震性や工法・部材を研究されています。

▶ お食事処

そば屋さん（陣馬そば）があります。

（結びに）

本紙の作成にあたり、ご寄稿いただきました多摩地域史研究会馬場喜信氏、
首都大学東京大学院准教授多幾山法子氏に心よりお礼申し上げます。

▶ お車でお越しの方へ

ハイキングにお越しの方は、有料駐車場が2か所あります。

平成30年11月

作成：上案下町会長 山下喜嗣